

# 栄小研究部通信

## 一人一実践：音楽科【3の2 館野先生】～振り返り～

### 1 授業参観シートより先生たちの声「1. 評価基準の設定について」

- ・感覚を言語化することはとても難しい活動だと思いましたが、イメージの例が挙げられていたことで、言語化できている児童が多かったです。
- ・正解はなく、自分の感じたことを表せられればOKなので自由に表現できて良いと思いました。



- ・自分なりの言葉を出している子たちが多くいたので、良かったと思います。
- ・曲の特徴や良さを感じながら自分の言葉で表現している子どもがいて感心をしました。



### 2 授業参観シートより「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- ・曲調を指で表現していて、比べてみると微妙に線の幅に違いがあっておもしろいと思いました。
- ・線の長さが同じ曲なのにバラバラな人もいたので、初めと終わりを指定するとより比べやすくなるのかなと思いました。
- ・選択がしやすく、低位の児童でも取り組みやすい内容だったと思います。
- ・曲調の表し方をチェロとピアノに分けて考えてみるのは、楽器の役割に気付く方法として良かったと思います。
- ・前時の授業からあらかじめ付箋を選べるようにしていて、表現が難しい子への手立てになっていました。



- ・JamboardとSkyを併せて使うことで、児童の思考を紹介できたことが良かったと思います。
- ・タブレットだけに頼るのではなく、紙でもOKだったり、あらかじめ用意されたキーワードを選んでも良いだったりなど柔軟に選択することができたことが良かったと思います。
- ・Jamboard上にある言葉を選びながら、白鳥の様子を想像して自分の言葉でまとめる方法が、子どもにとってわかりやすかったと思います。

### 3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」



- 学び方の確認で、次の鑑賞にも生かすことができることをおさえていたと思います。
- 最後にグループごとにまとめて、個々にイメージしやすくしていたので、言葉が出てきていました。
- 白鳥の曲のイメージから鑑賞の方法というまとめを行い、振り返りの流れが良かったです。
- 振り返りを行うことにより、楽器の種類や音の高さ・低さによって、曲の特徴が変わることを確認することができていました。

### 4 授業参観シートより 先生たちの声「4. その他」



- 前半部分を見せていただき、鑑賞中の子どもたちの聴き方が様々で、足でリズムをとっている子など聴くことに夢中な様子が伝わりました。
- 音楽の鑑賞の授業は、個人的にとっても難しく感じているので、凶面楽譜などの展開の仕方を見ることができて勉強になりました。
- 旋律を書けない子もいて、難しいのではと思いましたが、「やさしい感じ」、「ダンスしている感じ」など、みんなそれぞれ良い感性をもっていたと思いました。



- チェロとピアノの関係のようなものに焦点化させても良かったのかなと思いました。
- 「広い湖でゆっくり泳ぐ白鳥」、「晴れた日に仲間と自由に泳ぐ白鳥」、「久しぶりに広い所ですいすい泳ぐ白鳥」、「いつもの所で追いかけて合う白鳥」などのように、このくらいまでせまっても良かったのではと思いました。
- 意見を出しやすい授業で、子どもたちが安心をして発表していて、日頃の館野先生の声かけの積み重ねを感じました。
- 旋律を凶面で表すことを Jamboard で楽しくできて良かったと思います。
- 個性豊かなメンバーですが、やることはしっかり行い、指示への反応も一生懸命でした。日々の指導の成果だと思いました。
- Jamboard を使う際にスムーズに操作を行うことができおり、日頃の取組の成果を感じました。



- ❖ 学習指導要領3・4年生の「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の、「音楽表現を考えて表現に対する思いや意図をもつことや、曲や演奏のよさなどを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。」を **ICT を活用しながら見事に館野先生が体現してくれました。**
- ❖ 日頃の指導の積み重ねや、子どもが夢中になる教材開発など、**若手ながらその力量の高さを感じました。** また **音楽というまだまだ ICT の活用事例が少ない中でもチャレンジをしてくださった館野先生**、お忙しい中、本当にお疲れ様でした。
- ❖ ご参観していただいた先生方におかれましては、参観シートのご協力ありがとうございました。